

がんばれ大阪の企業

なにわの 環境経営かわら版

大阪市環境経営推進協議会 第34号 平成28年2月

Osaka City Promotion Council of Environmental Management

平成27年度 第2回セミナー 「巨大災害に備える」

11月30日（月）午後1時からあべのルシアス12F 大阪市環境局第1会議室において、平成27年度第2回セミナーとして「巨大災害に備える」と題したセミナーが開催されました。

地震・津波・高潮・火災・台風・豪雨と大災害に対する心構えをお聞きするべく学識経験者、消防署、近畿地方整備局といろいろな視点から近未来に起こるとされる巨大災害を解説して頂きました。

昨年4月にも同様のテーマで行いましたが、非常に好評で興味のあるテーマでしたので、再度取り上げました。今回も終了時のアンケートで「分かりやすかった」「話が具体的で役に立ちました」など好評なご意見をいただきました。（参加者55名）



会場風景

講演「国難への対処と新たなステージに入った災害」

関西大学 社会安全センター長

河田 恵昭 氏



河田 恵昭氏

「国難」災害が起これば、日本は確実に滅びる」というセンセーショナルな出だしで始まり、国内外の歴史上の大震災が国難となりその国の衰退に至った事例から、国づくりにおいて、道路、物流、人流、ターミナル、金融保険、社会基盤整備の必要性を強調されました。

鬼怒川の氾濫災害を例にとって、特別警報が出ても住民の1%しか避難しない実情から気象庁の発表する警報や自治体の避難指示や勧告に従う住民の勇気のなさも指摘されました。

また、近未来に起こるとされる首都直下型地震や南海トラフ巨大地震における被害予測と被害を減らすと同時に復興までの時間を短くする「縮災」社会を目指すべきとのお話や「防災省」の必要性の持論は、大変興味のあるものでした。特に東京での直下型地震が起こすグローバル化・一極集中化した首都中枢機能への被害は、日本衰退のシナリオであるとし、政治家・官僚への注文という河田先生特有の持論を展開されました。

講演「地震への備えと出火防止」

大阪市消防局 予防課(調査鑑識)

畠山 裕幸 氏

地震によって発生する火災原因の分析から、阪神淡路大震災と東北地方太平洋沖地震で撮影された迫力ある火災や津波の動画を見せていただきました。大災害になると「消防車はすぐには来ません。早く、小さなうちに消す」ことと、わが身の安全確保、確かな情報の収集、迅速な避難の必要性を力説されました。

また、大阪市として東日本大震災への支援（釜石市、大槌町）活動に参加された体験談も交えて講演いただき、火災や津波の被害の甚大さを感じることができました。



畠山 裕幸氏

講演「防災と危機管理」

国交省近畿地方整備局 防災課長補佐

川尻 竜也 氏



川尻 竜也 氏

近畿地方整備局の業務（河川、道路、港湾、公園、都市住宅、まちづくりなど）の概説の後、防災のお話を伺いました。阪神淡路大震災での被災状況を数多くの写真で説明され高速道路の倒壊、液状化による地盤沈下、電柱の倒壊による道路の封鎖など被害の大きさを見せつけられました。

そのあと、南海トラフ巨大地震に備えた対策として、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動やハザードマップによる各自の居住域に起こる被害予測を知ることができました。

大阪市環境局よりの情報提供「東日本大震災における宮城県石巻市に対する支援について」

大阪市環境局 事業管理課 課長代理

日下 淑博 氏

東日本大震災発生に際して、大阪市では、第1次から第15次まで、期間にして2か月半にわたり、石巻市に市職員を派遣し、各家庭に滞留している粗大ごみの回収に従事されました。合計で約3,600トンの作業量だったとのことでした。

その経験から、汚泥とゴミとの混在や支援物資配給の拠点周辺の早期の道路整備や、ボランティア活動が活発化するにつれ混雑によるゴミ収集車の効率が悪くなるなど、貴重な体験をしてこられたそうです。

今後、この経験を参考にされ、より有効な支援活動に結びつくことを期待しております。



日下 淑博 氏

平成27年度 第2回 視察研修会 『森永乳業 神戸工場』

12月2日（水）ヨーグルト製品などの生産工場である森永乳業様を視察させていただきました。（参加者40名）ミルクを原料に、牛乳、ヨーグルト、チーズ、バター、アイスクリームなどいろいろな乳製品が作られ、栄養満点の食品類の生産工場です。

工場は、清潔で衛生的なコンベアラインで、ほぼ人手にかかることなく包装、出荷まで流れ作業で整備されておりました。排水処理が完備されリサイクル率99%との説明でした。

最後に全員で手作りチーズづくりに挑戦し、でき上がったチーズをクラッカーに乗せて食べるというおまけつきで、楽しい研修会とすることができました。

牛乳を80℃にあたため、小さじ1杯の酢を注ぎ、ゆっくり3回かき混ぜてそのままにしておくと白い固まりができますので、茶こしなどでこの固まりを集めて水分を取るとチーズのでき上がりです。是非ご家庭でもお試しください。



集合写真



チーズ作り

淀川地域部会

平成 27 年度 見学会・セミナー・総会

平成 27 年度の淀川地域部会の活動報告です。本年度は平成 27 年 11 月 25 日に役員会を開催し、総会時の諸行事の詳細の打合せを行いました。そして平成 28 年 1 月 29 日に見学会・セミナーを行い、その後総会と交流会を開いて無事平成 27 年度の活動を終えることができました。

見学会

淀川地域部会では、部会内の会員事業所の相互見学を通して、異業種の交流とお隣さん企業との交流を深めることをすすめております。今年は、淀川区内の日華化成(有)様を見学させていただきました。

日華化成様は、昭和 31 年設立の顔料製造、表面処理に特化されておられ、特にスプレードライヤー加工では優れた技術を生かして、化成品の量産受託業務にその特徴を有しておられます。

見学会では、工場内の 3 階部分まで突き抜けて設置されているスプレードライヤーや、乾燥機、ミル、ミキサー等を順次説明をしていただきました。

セミナー

淀川区役所の市民協働課で行っておられる出前講座を利用させていただき、「南海トラフ巨大地震の被害想定と対策」のテーマで、田村担当係長様にお話をお願いしました。特に淀川区での避難場所とその備蓄状況、被害（人、建物）予測をお伺いし、また、区全域にわたるハザードマップを配布して頂いて、我が家や勤務先が津波や水害でどの程度の浸水になるかを知ることができました。

「自助・共助」が大切な事、企業における災害発生時の帰宅困難対策など、非常に貴重な講座を受けることができました。



セミナー風景

大阪市情報提供

おおさかスマートエネルギーセンターから遠藤主査様をお招きし、「国の補助制度の動向」についての情報を提供して頂きました。府内各市の補助金採択件数では、大阪市、堺市がほとんどで他の府内の市町村の利用が少ないこと、平成 28 年度の経済産業省のエネルギー関連の補助金 515 億円の概要などを説明して頂きました。

総会

総会出席 7 社、委任状 9 社（全部会員 27 社）の成立宣言の後、平成 27 年度総会が開かれました。

平成 26 年度の活動報告と会計決算、監査報告のあと、本年度が役員改選に当たるために、役員改選が議決され、下記の役員様が就任されました。

- ・ 部会長 田岡化学工業(株) 稲村 忠士 様
- ・ 副部会長 (株)ダイヘン 沼野 真志 様
- ・ 副部会長 塩野香料(株) 田村 克博 様
- ・ 会計 水谷ペイント(株) 吉川 幹 様
- ・ 会計監事 住友化学工業(株) 住友 孝明 様

このあと、平成 27 年度の活動予定と予算案が承認され、無事総会の終了となりました。

交流会

部会長のご挨拶と乾杯のあと、和やかに交流会に入りました。

当日見学をさせていただいた日華化成の山本専務様への質問の

なかでも騒音や悪臭対策が取りあげられ、また各社の現状の報告や、個人の趣味の披露など、有意義で楽しい交流会を開くことができました。当日は寒いうえに、かなりの雨の日でしたが、無事にすべての行事を終えることができました。



総会風景

大阪市からのお知らせ

平成 27 年度 大阪市環境表彰



平成 28 年 1 月 23 日（土）阿倍野区民センターで開催された「新春コンサート」にて、大阪市環境経営推進協議会会員の千林建物株式会社が事業者の部で、また事務局の塚本勝様が個人の部で「平成 27 年度 大阪市環境表彰」を受賞されました。

この表彰は、環境に対する意識高揚を図り、環境に配慮した活動を推進し、環境への負荷の少ない環境共生型・資源循環型社会の形成を促進することを目的とし、環境保全に関し顕著な功績のあった個人、団体及び事業者を表彰するもので、平成 16 年度から実施し、今回で 12 回目となります。

千林建物株式会社様は、厨房や空調などに対し、環境配慮型の設備投資を先駆的に行うとともに、社内で環境対策の定例会議を毎月開催されています。社員に対して環境改善を意識付け、光熱水道使用量の低減に努め、社員が確実に取り組みできるよう業務セクション毎に節電マニュアルを制定し、きめ細やかな節電に努めておられます。また、地域団体と協働で駅周辺の清掃活動を定期的に行い、駅前花壇の整備等も行っておられます。

塚本様は、市民の実践行動や事業者の自主環境管理を促進するため、なにわエコ会議や大阪市環境経営推進協議会の事務局において指導的役割を果たし、エコボランティアとしての活動などを通して、各活動団体の活性化に寄与されました。また、環境に関する自身の幅広いネットワークを活用し、セミナーの解説員や「なにわの環境経営かわら版」の編集責任者として活躍しておられます。

事務局だより

【今後の予定】

平成 27 年度の主な行事も、このあとセミナーを 1 回残すのみとなりました。4 月に入って第 4 回目のセミナーを行うべく、現在企画中です。

今までのセミナーのあとで皆さんに提出いただいているアンケートのご要望や、企画委員会で示されたテーマの方向性を取り入れて、時節にあったテーマに取り組んでいくつもりです。

参加協力をよろしくお願いいたします。(T)

第 34 号 平成 28 年 2 月

発行者：大阪市環境経営推進協議会

業務委託先：NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会

住 所：〒550-0005 大阪市西区西本町 1-7-7 CE 西本町ビル 8F

大阪市環境経営推進協議会事務局

TEL:06-6543-7779 FAX:06-6543-0607

E-mail: info@osaka-e-keiei.org

<http://www.osaka-e-keiei.org/>